

## 2. DVTS で使用する機材について

### 2.1 推奨する構成 (標準構成) (図 2-1)

# 標準構成

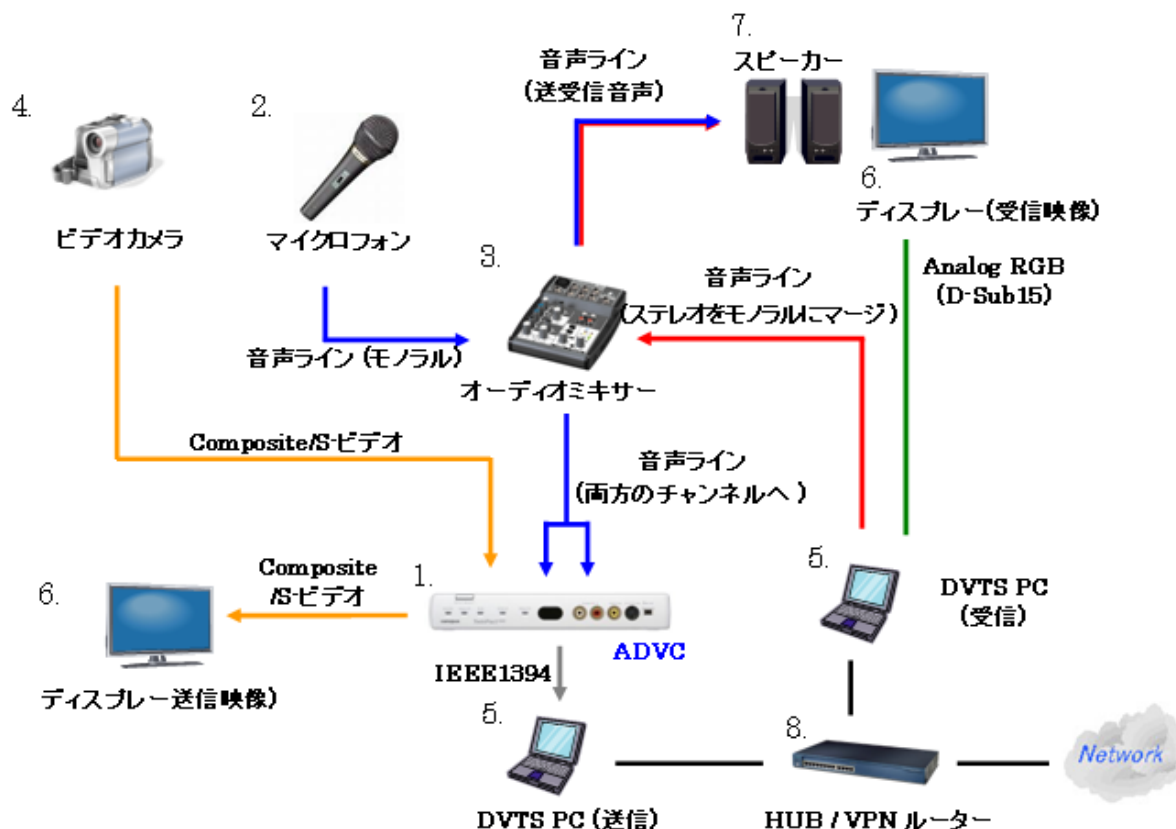


図 2-1 標準構成図




#### ・特徴

- ・カンファレンス会場の設備など既存の環境に合わせて柔軟に対応可能
- ・ステレオ、モノラル音声に起因する問題を解消
- ・送信音声のモニターが可能。送受信音声のバランスが調整しやすい
- ・DVTSを2台に分けることにより、局所におけるネットワーク負荷を分散  
PCトラブル時の影響範囲を小さくすることが可能
- ・ビデオミキサーと組み合わせることにより、手術中継などにも対応可能


上記構成に対応したDVTSパッケージの情報を 7.1 DVTSパッケージ詳細に掲載しています。  
合わせてご参照ください。

## 2.2 必要機材・機器詳細




### 1. アナログ・デジタルビデオコンバーター (ADVC)

|   |   |
|---|---|
|  <p>Canopus ADVC 110</p>  <p>Canopus Twinpact 100</p>  <p>Sony HVR-25J</p> | <p>必要な機能は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・S-ビデオ (コンポジット)信号を DV 信号に変換</li> <li>・NTSC/PAL 両対応</li> <li>・16bit 音声対応</li> </ul> <p>ADVC 110は上記の機能を有しています</p> <p>Twinpact 100は上記に加えて、RGB信号をDV信号に変換可能です</p> <p>Sony HVR-25J のような DV recorder も上記の機能を有しています</p> |
|---|---|


### 2. マイクロフォン

|  |   |
|--|---|
|  <p>Audio-Technica<br/>ダイナミックボーカルマイ<br/>クロホン PRO-100</p> | <p>必要な機能</p> <p>ボーカル用、単一指向性、ダイナミック型、手元スイッチ付<br/>(一般的なボーカルマイク)</p> <p>さまざまな種類のマイクがあり、見分けることが難しいことがあります。<br/>実際に使用する機器類と組み合わせて動作確認を行ってください。</p> |
|--|---|


### 3. オーディオミキサー

|  |   |
|--|---|
|  <p>BEHRINGER XENYX 502</p>  <p>Yamaha MG102c</p>  <p>Audio-Technica<br/>AT-PMX5P</p> | <p>音声の入出力レベルを調整に使用します。</p> <p>必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイクロフォンが接続できる(マイク用端子がある)</li> <li>・ GAIN(Trim)の調節範囲が -50dBV 程度までである</li> <li>・ 左右のバランスが調整できる(BAL 調整つまみがある)</li> </ul> <p>注意</p> <p>ラインミキサーはマイクの入力を増幅することができないので、使用できません。</p> <p>マイク、ミキサーなど音響機器にはさまざまな種類、メーカーがあるので、<br/>実際に使用する機材と組み合わせて動作確認を行ってください。</p> |
|--|---|


#### 4. ビデオカメラ

|   |   |
|---|---|
|  | <p>必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ NTSC 信号を出力できること</li><li>・ コンポジットまたは S-ビデオ出力があること</li><li>・ 三脚に取り付け可能なこと</li></ul> <p>注意</p> <p>DVTS 用多地点接続システム(Quatre)に接続する場合は、NTSC モデルしか使用することができませんが、1 対 1 接続では、PAL モデルも使うことができます。</p> |
|---|---|


#### 5. DVTS 用 PC (送信用、受信用各 1 台)

|   |  |
|---|--|
|  | <p>必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・IEEE1394 ポートを備えること(PC カード等による増設でも可)</li><li>・外部モニターを接続することが可能であること</li><li>・100Mbps 以上のネットワークポートを備えること</li><li>・Windows Xp モデルが望ましい</li></ul> <p>(Windows Vista における動作実績はあるが、リリースノート上では正式対応とはなっていない。2007 年 11 月現在)</p> <p>参考スペック: OS:Windows XP、CPU: Intel Pentium 4, Celeron or AMD Athlon 以上 (2GHz 以上)、メモリー: 256M 以上、グラフィックカード: DirectX をサポートしていること、ネットワークカード: 100Mbps 以上、 IEEE1394 ポート: OHCI 準拠</p> |
|---|--|


#### 6. ディスプレイ、(液晶テレビ、プラズマテレビ、プロジェクター)

|   |  |
|---|--|
|  | <p>必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ アナログ RGB または DVI の入力が可能であること</li></ul> <p>表示装置によって、映像品質に大きな違いがあります。</p> <p>一般的にフラットモニターのほうがプロジェクターよりもくっきりとした映像を得ることができます。</p> <p>会場の大きさなど制限がなければフラットモニターを使用することをお勧めします。</p> |
|---|--|

#### 7. スピーカー

|   |  |
|---|--|
|  | <p>必要な機能</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会場の大きさに見合った音量が出力できるもの</li></ul> <p>テレビ内蔵もしくは会場内音響設備でも可</p> <p>ステレオ、サラウンド対応である必要はありません。</p> |
|---|--|

8. HUB(暗号化が必要ないとき)・VPN ルーター(手術ライブ中継など暗号化が必要なとき)

|   |  |
|---|--|
|  | <p>手術ライブ中継など患者さんのプライバシーに配慮する必要がある場合には、VPN ルーターで暗号化し通信を行います。</p> <p>私たちの活動では<br/>アライドテレシス AR550S, AR570S を使用しています。<br/>(海外モデル AT-AR750S)</p> <p>メーカー間の互換性の問題があるため、他社製品の使用は困難です。</p> |
|---|--|